

NO. 1 仮設材について

- * 仮設材は、価格・流通在庫ともに安定しています。
- * 横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmを在庫しています。
- ・納品書通りのサイズ(長さ・厚み・幅)で仕入れています。
- ・ただし生木なので、多少の厚みムラ、ヤセがあります。
- ・ご依頼があれば、納入通りの出荷証明書を発行します。
- * 桟木は仮囲い用の仮設桟(桟木2等品)をご用意しています。
- * リン木は桧・杉材や米桐材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。
- * 養生ベニヤはNONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。



NO. 2 米松梁材について

- * 丸太価格の低下から米松梁桁材は値下がりし、その後安定しています。

NO. 3 外国産構造材について

- * ホワイトウッド材は若干の値下がりです。先行き入荷量の減少が見込まれています。
- * 米松羽柄材は横ばいです。
- * ロシア赤松材に大きな動きはありません。



NO. 4 国産構造材について

- * 原木搬出は出材が減少し、原木価格は上昇しています。
- * 国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。
- ・そして、国産材の域に留まらず、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。
- ・知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。
- ・弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。
- ・特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。
- * 公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。



NO. 5 造作材 米桐無節・上小節材(粗木)について

- * 別注品対応をしています。

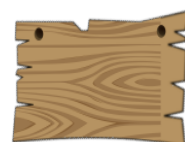


NO. 6 無垢材について

- * 建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。
- * 樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。
- * 明細にて都度お見積もりいたします。

NO. 7 積層材について

- * 積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。



NO. 8 内外装下地材について（ベニヤ・ボード等）

- * 合板はラワン・針葉樹共ほぼ全面的に下落傾向です。
- * 針葉樹合板厚物のメーカー在庫が減少傾向です。

NO. 9 内装仕上げ材について（建材メーカー商品等）

- * パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。
- ・特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。

NO. 10 断熱材関係商品について

- * グラスウールの在庫状況は安定しています。

NO. 11 養生材について

- * 養生材の販売強化に努めています。



NO. 12 接着剤について

- * 接着剤も値上げ後、安定しています。

NO. 13 金物・現場備品について

- * 販売強化に努めています。

NO. 14 加工費について

- * 加工に強い会社を目指しています。
- * ベニヤカットソー、プレナー機など、各種機械を設備しています。



NO. 15 各建材メーカー商品について

- * 各メーカーの出荷量は前年同期比10～20%減で低調に推移しています。
- * 特にリフォームでコロナ禍の影響が表面化し、低調さが目立ちます。
- * 新築はパワービルダーを中心に堅調に推移しています。



子育て施設に大阪の木を！ “木育”推進運動

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図ってもらおうという運動です。

山忠木材は、この活動にまじめに取り組んでいます。

地産地生 - 地域材



大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地元愛のために活動しています。

品質の良さをわかってもらえるよう努めます。



福祉 - 福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。

介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。

介護保険適用事業所 たろうの店 きこころ

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



災害への備え

住まいの健康チェック



思いやり - エコロジー



日本の和 - 和の商材



日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。

ご用命をよろしく願い申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784